

2013年10月1日

報道関係各位



## 伊藤忠都市開発 2013年度グッドデザイン賞 2部門2プロジェクトで受賞

### グッドデザイン・ベスト 100 に選出

「官民協働によるコミュニティガーデン活動」、「クレヴィア辰巳」  
—7年連続受賞—

伊藤忠都市開発株式会社(東京都港区、社長/辻村 茂<sup>つじむら しげる</sup>)は、2013年度「グッドデザイン賞」(公益財団法人日本デザイン振興会主催)を、下記のプロジェクトで受賞致しました。今般の受賞により7年連続の受賞となります。

### 【2013年度グッドデザイン賞 受賞プロジェクト・概要】

#### ①「官民協働によるコミュニティガーデン活動」 グッドデザイン・ベスト 100 に選出

東京都初の官民協働によるコミュニティガーデンづくり。新築分譲マンション「パークフロントテラス亀戸」に隣接する公園において「コミュニティガーデン活動」を推進。

#### ②「クレヴィア辰巳」

湾岸エリアに位置し、都心5Km圏内、緑と水辺の潤いを感じることが出来る恵まれたロケーション。多様なライフスタイルに応える居住空間を住まわれる方に提案。

※①「官民協働によるコミュニティガーデン活動」については、本年度グッドデザイン賞受賞対象の中から、未来を示唆するデザイン100件として「グッドデザイン・ベスト100」に選出されました。金賞等特別賞の候補として、「グッドデザイン・ベスト100 デザイナーズプレゼンテーション(11月1日～4日・東京ミッドタウンにて)」の場で公開プレゼンテーションを予定しております。

## ①「官民協働によるコミュニティガーデン活動」

(応募カテゴリー:個人による NPO 活動、コミュニティ活動、社会貢献活動)

**概要:**江東区の「シティ・イン・ザ・グリーン」理念の下、伊藤忠都市開発株式会社と株式会社コスモスイニシアがマンション建設に伴う地域貢献、都市緑化推進及び新旧住民交流・コミュニティ形成を目的に、建設地隣接の江東区立亀戸七丁目南公園において『コミュニティガーデン活動』を推進。公園を管理する江東区了承の下、公園美化を目的とした近隣住民参加のワークショップを開催し、ワークショップ内容に基づく改修工事を実施。工事完了後、区民団体による公園維持管理活動(総勢約 177 名参加)を約一年に亘りサポートし、平成 24 年 12 月「コミュニティガーデン」が結成。東京都で初の官民協働による「コミュニティガーデンづくり」となった。



みんなで考えて、みんなで公園づくりに参加しました!



**Before** 以前の亀戸七丁目公園



**After** 改修後



### 【グッドデザイン賞審査委員の評価】

緑化を重要視する開発は、現代において頻繁に見られる。緑化の本質的な目的とは、より良い地域生活の創造であり、そのプロセスにも利用価値を見いだすことができる。公園の緑化を庭作りとして設定。マンションの新規住民と近隣住民が協力して創り上げることによって、地域のコミュニケーションを促進する。[RET] 『コミュニティガーデン』活動はその着眼点を現実化するために様々なアプローチを行った。長期的な緑化推進理念を持つ江東区との協議を重ねることで、推進体制を確立することに成功。そして主役となる住民に活動のコンセプトが正確に伝わるよう、ワークショップを複数回開催した。[RET] 結果『自ら創り上げていく』という当事者意識が喚起され、官民協働による『コミュニティガーデンづくり』は現実のものとなった。行政と住民の間にあった隔たりを解消するノウハウ、地域に貢献するプログラムの先駆けとして高く評価する。



